

令和 4年度 園評価書

園番号

6

園名 梅ヶ島こども園

I 経営の重点に関わること

評価段階 (A : よくできている B : 概ねできている、C : あまりできていない、D : できていない)

1 教育・保育目標	2 重点目標	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策 (来年度の具体的な取組目標等)
丈夫な身体で 元気に遊ぶ子	自分の思いを 伸び伸びと表現する	・園児は、経験したことや感じた気持ちを素直に表現することができている。	・やりたくない時に態度で示すことが多かったが、少しずつ言葉で思いを伝えられるようになってきているように感じる。調子のよいときには自分から積極的に話ができるが、気分や体調によっては言えずにいることもあるので、園児の様子を見ながら、じっくり話を聞いたり、話を促すような関わりをするようにしている。	B	A	・様々な手立てを講じて園児の表現力向上に向けて努力されている様子がよくわかる。 ・先生方が園児の語彙を増やす言葉がけを、意図的に行われており、ありがたい。	<ul style="list-style-type: none"> 園児の現状把握 園児に無理なことを求めているか、職員共通理解 →課題の共通理解 思いの伝え方や表現の仕方について伝えていく 自然に言葉を促すような言葉がけや関わり方の工夫
		・園児は、様々な人とかかわり、思いを伝えながらのびのびと園生活を送ることができている。	・様々な活動の中でどの職員とも関わりが持てるようにしているが、まだ時々言いたいことを言い出せずに黙ってしまったり、答えに窮すると「わかんない」と知らないふりをしたりすることがある。困っていることは素直に話せるように、保育教諭側が聴く姿勢を見せていくようにしていく。	B	A		

II 各領域に関わること

大項目	中項目	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策 (来年度の具体的な取組目標等)
1 こども園における教育及び保育	(1)0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	・保育教諭は、発達段階に沿った教育・保育を行い、応答的なかわりの中で子どもの成長過程を見守り、援助している。	・園児の様子や姿を職員間で共有し、成長を共に喜んだり今後の関わり方や支援の仕方を一緒に考えながら保育を進めている。	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 職員間で話し合う機会を持ち、情報共有するとともに、どのように対応していったら良いかを検討する
	(2)一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	・園は、子どもが教育・保育時間を充実させると共に家庭的な雰囲気の中でゆったり過ごせる時間も大切にしている。	・園児の家庭環境の実態や体調を考慮し、室内でゆったり過ごせるような時間を設けたり、季節や気温にあった服装ができるよう着替えを促したりしながら、安心して気持ちよく過ごせるよう配慮している。 ・1日の活動の中に「静と動」の活動を入れていくことで生活にメリハリがつくようにしている。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 家庭環境の改善がなかなか見込めない中で、楽しく快適な保育環境が提供され、園児の心身の成長に良い影響を与えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携し、更に家庭支援を強化する(各機関と連絡を密にとる)
	(3)環境を通して行う教育及び保育	・園は、梅ヶ島ならではの自然環境を活かした教育・保育を行い、園児の思いを大切に、繰り返し楽しめる時間と場所を確保している。	・季節の行事を企画し、供える為の植物を採取しに出掛けたり、近所の池にカエルを見に出かけたりと、梅ヶ島ならではの自然を感じる保育が出来た。一方災害や新型コロナ等の関係でバスなどに乗って出かけることなど、企画はしたが実現できなかった。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> うめこの通信や写真付き掲示物を作成し、学校に届けていただいている。園児や園行事の様子がよくわかり、学校の子どもたちも保護者も楽しむている。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた職員の中で、どうしたら職員体制を整えられるのかを考え、話し合う 地元の保育教諭や地域の方から情報を得る 行事に参加し、地域の方々と関わる機会を持つ
2 安全管理・指導	(1)事故防止・防災	・園は、定期的に様々な想定での避難訓練や不審者訓練、安全点検を行うことで園児が安全に過ごせるようにしている。	・毎月の避難訓練では、様々な災害を想定して訓練を行う中で、園児自身が“自分の身を守る大切さ”を感じているように思う。また同じような想定で気の緩みが生じることのないように、企画し、取り組んでいる。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 園児の課題に応じた適切な対応だけでなく、保護者の心のサポートなど、丁寧な対応のおかげで園児がのびのびと園生活を送ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の職員への周知 視覚教材を利用して、園児にも分かりやすく伝える 訓練の実施方法の工夫 (場所や設定)
3 保健管理・指導	(1)健康教育の充実	・保育教諭は、子どもの心身の健康状態を把握し、基本的な生活習慣や生活リズムを整える為の援助を繰り返し行い、健やかに成長できるようかかわっている。	・登園時に朝食の有無を確認し、毎月の「食育の日」には、食に関してだけでなく、健康や生活習慣にも触れながら話をしている為、園児自身も意識して生活するようになってきている。	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 保護者にも食育を行う (食育の日を実施した事を掲示するなど) 園児への食育を行う時間や方法の工夫
4 特別支援教育・保育	(1)支援体制づくりの推進	・保育教諭は、子どもの姿に沿った指導内容やかかわり方ができるよう、職員共通理解の下教育・保育にあたっている。	・園内研修で関わり方や教育保育の方向性について職員が共通理解できるようにしているが、園児や保護者への関わり方に微妙な違いが出てしまうこともあることから、再確認の時間を作る必要があるように感じる。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 園児が1名の為、研修を推進することに困難さがある中で、先生方は熱心に取り組んでいる。 保護者への具体的なアドバイスが大切。一緒に取り組むことも効果的だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 園児や保護者が安心できる雰囲気づくりや伝え方について話し合いを持つ
5 組織運営	(1)組織体制の充実	・園は、職員間で互いに情報を共有し合い、子どもや保護者が安心できる雰囲気作りを努めている。	・職員間での情報共有はできているが、書面だけの共有の時もあり、捉え方によっては伝わりづらいこともあるため、なるべく口頭での伝達ができるようにしていく。	B	A		<ul style="list-style-type: none"> 書面だけでなく口頭で伝えあい、情報の細かい部分まで理解しあえるようにする 有意義な話し合いができるよう、時間や進め方を決めておく
6 研 修	(1)研修体制の充実	・職員は、子どもの言葉や動きから気持ちを読み取り、その姿に沿った適切な援助が行えるよう研修を行っている。	・園内研修では、資料や写真を事前に配布したことで、決められた時間の中でより多くの意見を出し合い、有意義な話し合いを持つことができている。	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 園内研修、事前事後研修の進め方について考える
7 教育・保育環境 整備	(1)教育・保育環境の充実	・保育教諭は、子どもの興味関心に寄り添い、子ども自ら「やってみよう」と思えるような環境作りに努めている。	・子どもの姿から遊びの展開を予想し、必要なものを用意したり、登園時に興味を持ち、遊び始められるように環境を工夫したりしている。	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 月の会議の中で、園児の興味関心がどこにあるのかを話し合い、そこに焦点を当てて教育・保育を行う
8 家庭との連携・協力	(1)家庭教育への支援機能の充実	・遊びや生活の様子を保護者と伝え合い、子どもの成長を互いに喜び合えるような関係が築けるよう努めている。	・登降園時、保護者にこちらから声をかけ、コミュニケーションをとるよう心掛けている。また保護者の様子を職員間で迅速に共有し、状況によっては話を聞く時間を設けるなどの対応をしている。 ・家庭や保護者の現状把握に努め、状況にあった支援や関わりをしている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 父母の会もその年の運営によって、色々なことが動く年と動かない年があるが、何事も自分事として捉え、子どもの為に動いていくのが大事だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者支援の仕方について、その都度考え、話し合いをしていく
9 近隣の学校との連携	(1)近隣の園との連携の推進	・園は、子どもが集団での活動の経験もできるよう、近隣園との交流や地域の小中学校の活動に参加する場を大切にしている。	・近隣園、学校との交流を積極的に行おうと試みているが、新型コロナウイルスや自然災害の影響で、行事に参加できなくなってしまったことがあった。今後も参加の仕方を工夫して、近隣園や小中学校との交流ができるようにしていきたい。 ・小中学校に園での様子を写した写真を掲示してもらい、子どもの様子を伝えられるようにしている。	B	A		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でもできる方法を考えていく (福祉施設との交流のやり方など) 年度初めから他園や小中学校との交流を積極的に進めていく 園から積極的に他施設へ働きかけを行う
10 地域との連携	(1)信頼される園づくりの推進	・年間行事の中で地域の方々との交流が持てるよう、園から情報を発信していく。	・うめこの通信 (年5回) を回覧板で回してもらい、市域の方々にも園での活動を知ってもらえるようにしている。 ・生涯学習交流館に園日より写真を掲示して、園の様子を発信している。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> (地域の反省として) こども園はよくやってくれているが、地域からの発信が少ないため、地域と一緒に何かをするという事が少なくなってしまう気がする。もっと地域から発信して一緒に取り組む活動もできると良いと思 	<ul style="list-style-type: none"> 他の方法を探るなど、できるようなやり方を模索する 園児の様子だけでなく、大事にしているところも伝えていく